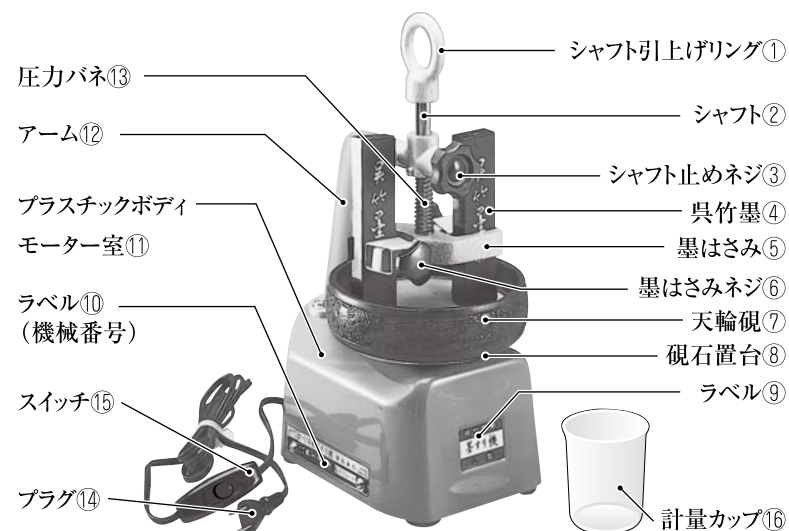


⚠️ ご使用上の注意

1. 万一停電した時や、回転が停止した時は、すみやかにスイッチ⑮を切りプラグ⑭をコンセントからはずして下さい。その後シャフト引上げリング①に指を掛け、シャフト②を引上げ、シャフト止めネジ③で止めて下さい。そのまましておきますと墨が固着してはずれなくなります。
2. ご使用にならない時はスイッチ⑮を必ず切りプラグ⑭をコンセントからはずして保管して下さい。
3. 濡れた手でスイッチ⑮やプラグ⑭を操作しないで下さい。
4. 電源は100V、10A以上のコンセントからおとり下さい。
(タコ足配線はやめて下さい。)
5. 電源コードは丁寧に扱って下さい。(折り曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。)
6. 墨すり機の汚れを水道でまる洗いしないで下さい。
7. 磨墨中(回転中)は手を入れないで下さい。
8. 幼児の手の届かない所でご使用下さい。又手の届かない所で保管して下さい。
9. 墨と硯が固着した場合は50～60℃の温湯を注ぎ墨をひねりながらはずして下さい。
10. 墨の磨墨以外の用途には使わないで下さい。
11. 墨すり機の分解・改造は一切しないで下さい。
12. 100ml以上の水は入れないで下さい。
13. モーターは始動から約30分間、熱が次第に上昇しますが不良ではありません。但し、連続5時間以上の使用はさけて下さい。
14. 日本国内の仕様になっておりますので、外国でのご使用は出来ません。

すばらしい効率 呉竹 墨すり機

L型機詳細図



Kuretake

株式会社 呉竹

〒630-8670 奈良市南京終町7-576

TEL : 0742.50.2050

URL : www.kuretake.co.jp

呉竹墨すり機・専用天輪硯の使用方法和手入法

■仕様

仕様

品名	墨すり機/L型
品番	KH1-102
定格	100V
電源コード	2.0m(有効長)
重量	3.1kg
墨	1.0型~10.0型
硯	天輪硯 中

天輪硯 中



硬度表

硯名	鋒鋸鉱物	硬度
	ダイヤモンド	10度
	ガラス	5度
端溪	緑簾石、その他	6.5度
羅紋	斜長石、その他	6度
天輪	特殊超微粉結晶体	9.3度

天輪硯は超微粉結晶体を鋒鋸とし特殊な資材を用いて生産された人造硯で鋒鋸の結晶体粒子の硬度は9.3度です。
従って墨おり性は抜群で磨墨による硯面の磨滅は天然硯に比べ1/10以下です。

※墨の厚み13mm~25mm(1丁型から10丁型)までの墨がお使いいただけます。
(但し墨の厚みが13mm以下の場合には墨に添え木をしてお使い下さい。)

■使用法

運転の時

- 1.シャフト止めネジ③をゆるめ、シャフト引上げリング①に指を掛け、シャフト②を引上げて、シャフト止めネジ③で止める。
- 2.硯石置台⑧に天輪硯⑦裏面の凹部を確実にはめ込む。
- 3.墨はさみ⑤に墨を取り付ける。墨はさみ金具の下端より墨を下へ30mm~35mmの長さに出して墨はさみネジ⑥を強く締め取り付ける。
- 4.シャフト止めネジ③を徐々にゆるめてシャフト②を静かにおろし、硯面に墨を水平に密着させる。左右2挺の墨が硯面に密着しているか確認調整する。
その後充分にシャフト止めネジ③をゆるめる。

- 5.天輪硯⑦に適量の水を計量カップ⑩で入れる。
- 6.プラグ⑭をコンセントに差し込み、スイッチ⑮を入れ、磨墨を開始する。

停止の時

- 1.スイッチ⑮を切りただちにシャフト引上げリング①に指を掛け、シャフト②を引上げ、シャフト止めネジ③で止める。
- 2.プラグ⑭をコンセントからははずす。
- 3.天輪硯⑦を硯石置台⑧から取りはずし磨墨液を他の硯や容器に移す。

■手入法

墨すり機L型

プラスチックボディ、金属塗装部の汚れは柔らかい布を湿らせて拭きとって下さい。

天輪硯 中

磨墨後硯面を熱湯で浸し、少し放置後タワシでよくこすって洗浄しますと鋒鋸の間の凹部に詰まっている墨のニカワ分が溶解して凹部が深くきれいになって墨おりが良くなります。

墨

磨墨した後の墨は周囲に水分がついていますので布やティッシュ等できれいに拭きとって下さい。
拭きとった後は、日のあたらない所で保管して下さい。
(墨が水分を含んでいるためヒビ割れする事があります。)

■ご案内<墨すり機を快適にお使いになるために別途お求め下さい。>

泥砥石

ご使用後鋒鋸の頭が磨滅して墨おりが悪くなりました時は泥砥石で軽く硯面を砥いで下さい。新しい鋒鋸が起きて墨おりが良くなります。